

小学部 B 組 生活科 『ありがとう おみせ』

1. 単元の概要

<p>期日・時数</p>	<p>[全27時間] 6月8日(金)～1月18日(金)</p>
<p>児童の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの児童も店を利用した経験はあり、教員の簡単な支援があればレジで支払うことができるが、店員に質問をした経験は多くない ・店のポスターや宣伝を目にしたことはあるが、写真や絵への興味はあっても、書かれていることに着目したり、情報を得たりする習慣はない
<p>単元の設定理由</p>	<p>5月の宿泊学習で利用した店への御礼を目的とし、各店のポスターを作ることとした。店員に質問しながらポスターを作る活動を通して、身近な大人以外とのコミュニケーションを経験したり、ポスターに書くべき情報を知ったり、生活をより豊かにできると考えたから。</p>
<p>単元目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> ・状況、相手に合わせた挨拶や話し方、発表の仕方を知る ・「営業時間」や「定休日」など、ポスターに書かれることの多い情報の意味を知る ・定型文を見ながら、自分で質問内容を店員に伝える ●思考力・判断力・表現力等 <ul style="list-style-type: none"> ・店員に質問する時の言葉を考える ・インタビューファイル等で調べながら、ポスターを書く ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・自分から店員に挨拶や話をしようとする ・疑問に思ったことを、店員に聞こうとする ・ポスターを見る人を意識して、書こうとする
<p>協働している地域・外部資源について</p>	<p>【あしな】弘明寺商店街にある弁当屋。校内宿泊の夕飯を購入する時に利用した。店構えが開放的で、校外歩行等で弘明寺商店街を歩く時には、沢山の惣菜や弁当が並べてある様子を見ることができ、校内宿泊で利用する前から、児童らは興味を示していた。近隣の小学校の授業にも協力的な店であった。</p> <p>【中島館】弘明寺商店街の外れにある銭湯。校内宿泊の入浴時に利用した。計8種類の風呂があり、なかなか銭湯を利用する機会のない児童らにとっては非日常的な楽しい環境である。家族経営の温かみのある接客で、児童らも安心して過ごすことができる。</p> <p>【小泉商店】学校から徒歩30秒で行ける商店。校内宿泊の時のおやつを購入した。いわゆる駄菓子屋で、少額の小額で買うことができるおやつが豊富に取り揃えてある。店主の柔らかな対応で、児童らの買い物学習を温かく見守っていただける。</p>

2. 単元の指導計画

時 数	ねらい	主な学習内容
一次 2時間	<p style="text-align: center;">店に手伝いがあるかを聞く</p> <p>①お世話になった人に御礼をするということを知る ②御礼の手紙を受け取った店員の気持ちを確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・店に御礼の手紙を届ける ・手紙を受け取った時の店員の表情を見て、どんな気持ちかを表情のイラストから選択する ・御礼に手伝いをするを店員に告げ、店の宣伝を依頼される
二次 4時間	<p style="text-align: center;">ポスターを知る</p> <p>①店の宣伝方法にどんな方法があるかを確認する ②ポスターに必要な情報を知る ③質問する時の言葉や態度を知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実在する店のポスターを見たり、CMを見たりして、宣伝の方法を知る ・宿題で家族にポスターや広告から知りたいことは何かをインタビューし、学校でそれを発表する ・店に、どのようなことをポスターに書けばいいかインタビューする
三次 13時間	<p style="text-align: center;">ポスターを書く</p> <p>①店にとって必要なポスターに載せる情報を知る ②ポスターを書くためにインタビューファイルを使って調べる ③ポスターを見る人を意識して、きれいに書こうとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・店にインタビューした内容から、ポスターに載せる情報を確認する ・ポスターに載せる情報の内容を店員にインタビューする ・インタビューした内容を学級の友だちと共有する ・インタビューファイルを見ながら、担当する店のポスターを書く ・店に電話をして、ポスターをチェックしてもらおう約束をする ・店にポスターを見せ、感想を聞く ・店に指摘された内容を修正したり、追加したりする
四次 2時間	<p style="text-align: center;">ポスターを届ける</p> <p>①店員に話す時の言葉を考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当した店に、出来上がったポスターを届ける
五次 3時間	<p style="text-align: center;">ポスターを校内で発表し配る</p> <p>①全校の児童生徒の前で発表する時の言葉や話し方を知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校の児童生徒の前で発表するための練習をする（本時） ・ポスターを発表しチラシにして配る

六次 3時間	ポスターを店先で配る	
	①商店街を歩く人にポスターを配る時の言葉や態度を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街を歩く人にポスターを配るための練習をする ・商店街を歩く人にポスターを配る②

3. 本時

(1) 本時の目標

- ・ポスターに載せる情報やその内容を確認し、店を紹介する文を友だちと作る (知識・技能)
- ・発表する時の話す速さを知り、適切な速さで話す (知識・技能)

(2) 本時の展開

時間	学習活動	指導・支援および留意点
9:45	1 授業の予定を知る ①かるたをして、文を作る ②出来上がった文を読む練習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の予定を板書する (移動式ホワイトボード)
9:47	2 かるた (全15問) ①ポスターに載せる情報をつかったかるたを行う。読み手役の教員が読んだ言葉と、同じ札を取る児童グループ A と、読み手役の教員が読んだ言葉から連想してその内容の札を取る児童グループ B に分かれる。 ②札を取るごとに、札を持ち寄って、店を紹介する文を完成させる	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手役の教員が読んだ言葉と同じ札を取るグループ A (勝田) D 児・E 児・F 児 ・読み手役の教員が読んだ言葉から連想してその内容の札を取るグループ B (三田) A 児・B 児・C 児・G 児 ・どの児童も文を作れるように、助詞の書かれた作成ツールを用意する
10:10	3 発表の練習 かるたで作った文を確認し、読む練習をする ①聞き手が聞き取りやすい読み方「よみかたルール」を確認する ②担当の店ごとに分かれる ③自分が読む文を知る ③担当の店ごとに、かるたで作った文を練習する	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手が聞き取りやすい声の速度を視覚的に提示する ・かるたで作った文の中から、児童の実態に応じて、練習する文を指定する
10:15	4 発表 ①聞き手が聞き取りやすい読み方「よみかたルール」を確認する ②読む練習をした文を一人ずつ発表する 友だちの発表を聞いて、「よみかたルール」を使って確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・文を発表する時に気を付けることを再度確認する

10:25	5 振り返り 完成した文を確認する 「よみかたルール」を確認する	・ミニホワイトボードや「よみかたルール」を提示する
10:30	6 おわりのあいさつ	

(3) 本時における学習評価

<p>【ポスターに載せる情報やその内容を確認し、店を紹介する文を友だちと作る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手役の教員の言葉を聞いて、同じ札が選べる ・読み手役の教員の言葉から連想して、内容が書かれた札が選べる ・かるたで取った札を前に持ってきて、ツールを使って文が作れる
<p>【発表する時の話す速さを知り、その速さで話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表する時に話をする適切な速さがわかる ・発表する時に話をする適切な速さがわかり、その速さで文を読もうとする ・発表する時に話をする適切な速さがわかり、その速さで文が読める

4. 考察

この単元を通して、下記の二点について成果をあげることができた。まず一点目は、店舗に年間を通して関わったことで、児童と店員の対話に変化が見られたことである。徐々に緊張感が和らぎ、店員に微笑みかけ、自分から話しかけようとしたり、自分にできる手段で応答したりする児童の姿が見られた。また、店員の関わり方にも変化が見られた。初めは教員に視線を向けて話していたのが、徐々に児童に視線を向けて話してくれるようになった。二点目は、ポスターを完成させたことである。ポスターを作成する中で店舗ならではの用語（「営業時間」や「定休日」など）を学べた。第三者が見ることを意識して慎重にペンでなぞり書きをしたり、自分で考えてイラストを工夫したりすることができた。

今後は、完成したポスターを店舗に届け、校内の児童生徒にポスターを配布する予定である。店舗との関わりも継続していきたい。

(授業者：◎佐野知佳子・三田裕介・勝田悠)